

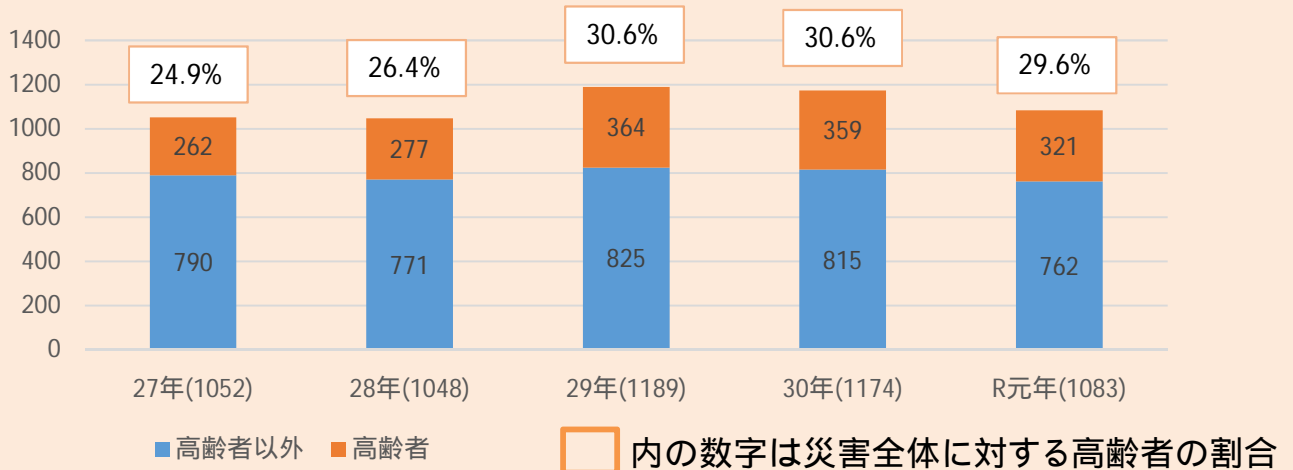
STOP！ 労働災害

～ 高年齢労働者の労働災害を防ぐために～

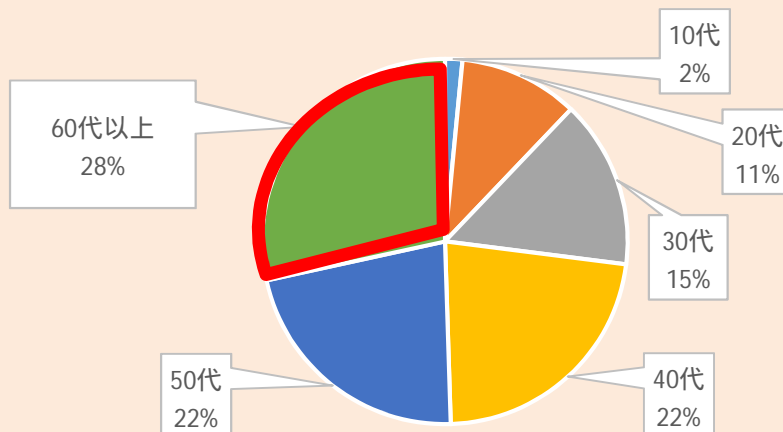
全国では、60代以上の高年齢労働者の労働災害が増加傾向にあり、富山県内では増減を繰り返しているものの、労働災害全体に占める高年齢労働者の割合は各年代の中でも最も高い状況です。

高年齢労働者は、若年労働者と比較して被災した場合にその程度が重くなるという傾向がありますが、働き方改革の流れの中、経験豊かな高年齢労働者が事業場の中心的存在として活躍されているケースも多いことから、その能力を十分に発揮できるような職場作りが重要であることはもちろん、安全衛生教育等の実施により、無災害となるような取組みも必要です。

H27～R元年の高齢者の災害件数

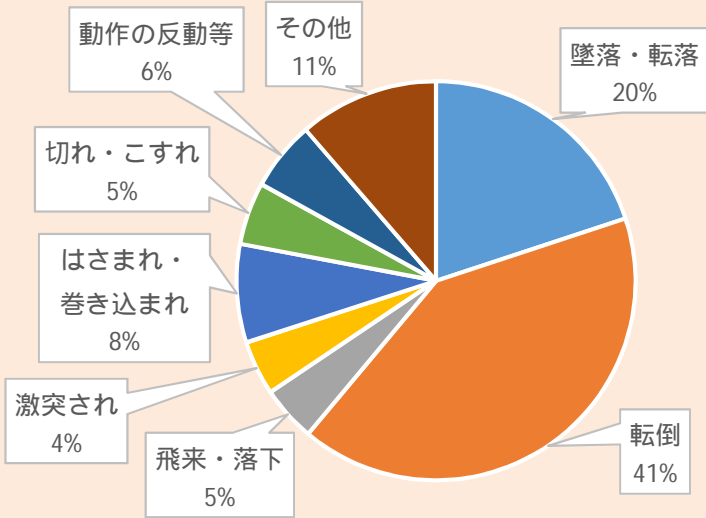


H27～R元年の被災者の年齢別割合



高年齢労働者で最も多いのは、転倒災害です！

H27～R元年の高年齢労働者 災害内訳



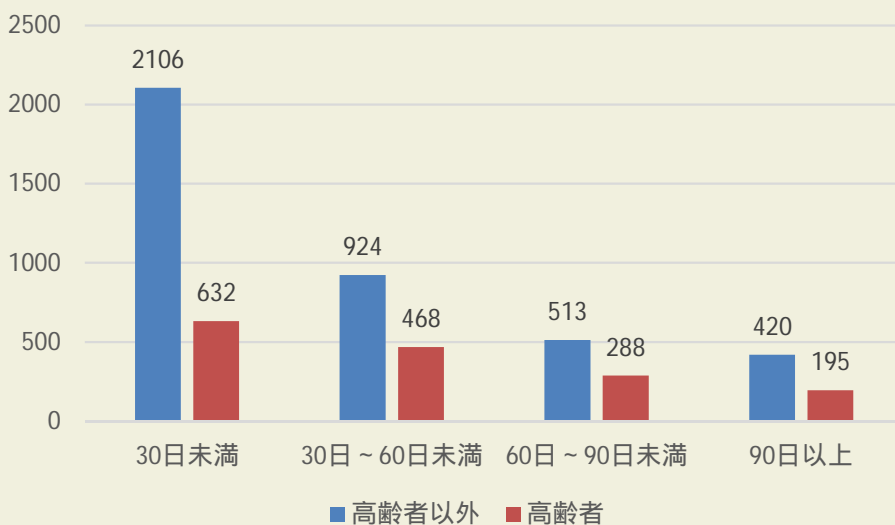
富山県内の過去の高年齢労働者の災害内訳を見ますと、最も多いのは転倒災害となっており、災害全体の4割以上を占めています。

続いて多いのが墜落・転落となっており、この2つの災害で災害全体の6割以上を占めていることから、引き続き事業場における災害防止対策を進めていくことが重要です。

転倒災害等を防止するため、以下の点に留意しましょう！

1. 通路・階段・出入口に物を放置せず、階段には滑り止めや手すりを設けましょう。
2. 冬季においては、事業場内の敷地内にて事務所、工場、駐車場等が離れている場合には、渡り廊下、通路、駐車場内、一般公道の降雪、凍結に十分注意しましょう。
3. 足場や開口部での作業を行う場合は、墜落制止用器具を適切に使用しましょう。
4. 脚立、はしご、トラックの荷台で作業を行う場合は、ヘルメットを着用しましょう。
5. 「慣れ」による災害を防止するため、作業マニュアルの遵守を徹底しましょう。

H27年～R元年の休業見込日数



富山県内の全労働者の内、高年齢労働者の割合は約18%（約8万5千人）であり、その数に対する被災者の割合は少なくありません。一旦被災すると、休業見込日数が若年層と比べて長期化する傾向にあります。